



アークデザインインターナショナル

東アジア地域における結婚式場の開発を 目的に中国・上海に拠点をオープン

国内のマーケットは今後人口減から確実に減っていくことがわかっているわけだが、そこでまだ人口が増えている海外の市場へ進出するというのもウェディング企業としてはありだろう。しかし、進出に当たっては大きなリスクがあるのも事実で、そこをどうクリアしていくか、それを軽減する方法があれば活用したいものだ。アークデザインインターナショナルでは地元資本なども巻き込んだスキームを模索している。



日本国内だけでなく、ハワイやグアムなども含め100か所以上のチャペルやバンケットの実績を持っている。

日本各地やハワイ・グアムなど 100か所以上のチャペル・ バンケットの設計・デザインの実績

アークデザインインターナショナル（東京都中央区）では、3月に東アジア地域（中国、インドネシア、ベトナム、カンボジア、フィリピンなど）における結婚式場の開発を目的とした拠点を中国・上海に設置する。

同社は、1994年の創業以来、これまで日本各地や沖縄、ハワイ、グアムなどのリゾート地において100か所以上のチャペルやバンケットを設計・デ

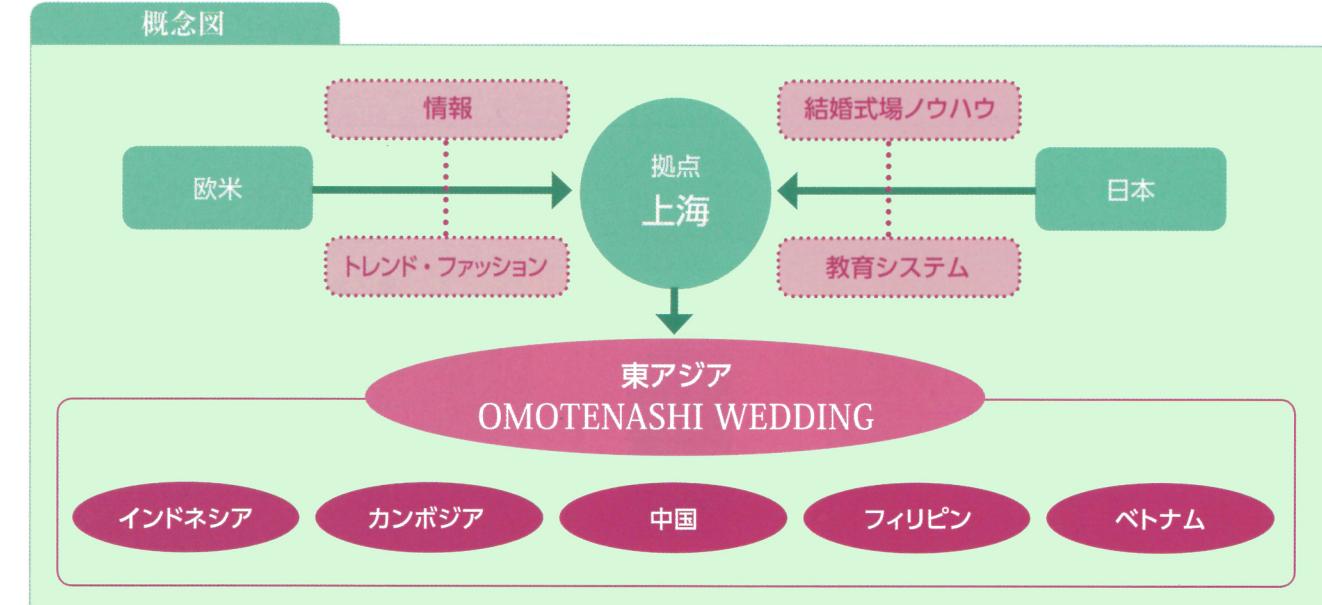
ザインしてきた。

テイクアンドギヴ・ニーズやエスクリ、アルカンシエルなど国内でも大手の婚礼企業の案件を手掛けてきた実績を持つ。こういった実績から培ってきたノウハウを基に、東アジア地域において結婚式場の開発を強めていく。

第1号案件はすでに決定しており、今年後半にも中国国内にて、オープンを予定している。オープンする結婚式場は、エリア全体を開発するなかで、ひとつのコンテンツとして開業を予定している。

日系企業だけでなく 地元企業も巻き込んだスキーム

これまで日系の婚礼企業が中国などへ海外進出を行った場合、あまりうまくいかずに、数年で撤退というケースが多いが、同社の考えている、スキームでは、上海に開設する拠点をベースに、現地の不動産開発会社などと連携し、新たな都市開発や商業施設の新規プロジェクト、施設のリノベーションなどで、結婚式場の開発を提案していくことで、日系の企業だけが前面に出ていくのではなく、地元の



企業を巻き込んだ形での展開を行っていくことで、自社のみで海外進出するよりも、リスクの少ない形での展開が可能になる。国内のマーケットは閉塞感もある中で、海外進出をしてみようと考える企業にとっては、パイプづくりということも含め大きなメリットがある。中国では新たな都市開発の中のひとつとして、結婚式場を都市開発の中に組み込んでいくという発想もあり、ニーズも高くなっているのだとう。

「東アジアでは、不動産開発会社などから日本の結婚式について問い合わせを多くいただいている。ハード面だけでなく、運営のクオリティ維持も含めたマネジメント体制全般にも興味を持たれていることが多く、開業後の運営を含め日本式のサービス提供はどうしているのか、そうした日本のウェディングプランナーやサービススタッフをトレーニングするための日本式の教育システムを希望されるケースが多く。これまでにも、日本の婚礼企業と連携し、サービススタッフを受

け入れ教育するなど行つてきました。デザインは当社がこれまで手掛けってきた実績がありますから、こうしたハード面とともに、ソフト面での日本の『OMOTENASHI WEDDING(おもてなしウェディング)』の文化を東アジアにも広げていきたいと考えています。そのため、国内の婚礼企業との連携も強化していきたいと思います。国内マーケットは人口減などの影響もあり、どうしても右肩下がりになる状況ですが、海外進出するにしてもハードルが高いと考えている企業は多いと思います。当社と、コラボレーションしていくことで、ソフト面の総合コンサル的なライトな形で海外進出を行えるようになるというのは、国内の婚礼企業にとってもひとつのメリットであり、チャンスだと思います」と語る影山理一郎社長。

中国だけでなく、ベトナム、カンボジア、インドネシア、フィリピンなどにも、同様のモデルでの進出を予定しており、パートナーなる国内の婚礼事業会社も募っていく考えだ。



**アークデザインインターナショナル
代表取締役
影山理一郎**

1962年東京生まれ。一級建築士。東海大学工学部建築学科卒業。

ARC DESIGN設立後、日本の著名な空間プロデューサー「清野耀聖氏」が手掛けた商業施設や、住宅の設計で実績を重ねる。その後、ウェディング上場会社「TAKE AND GIVE. NEEDS Co., Ltd.」の、日本全国にわたる結婚式場の内、第1号店から63号店に及ぶ施設を手掛けた。

その他、ハワイやグアム、沖縄など、リゾートエリアのウェディングチャペル含め、日本企業において最も多くの結婚式場を手掛けた実績を誇る。

現在は、これまでの実績にて培ったウエディングのノウハウを、中国を中心としたアジアのウェディング業界へ貢献すべく、活動領域を広げている。